Effects of the continuous intake of Lacttobacillus casei strain shirota-fermented milk on risk management of long-term inpatients at health service facilities for the elderly

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2011-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 辺, 蕾 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001115

順天堂大学　博士 (医学)
氏名　辺 蕾
論 文 題 目　Effects of the continuous intake of Lacttobacillus casei strain shirota-fermented milk on risk management of long-term inpatients at health service facilities for the elderly
(Lacttobacillus casei シロタ株を含有するプロバイオティクス発酵乳の継続飲用が高齢者施設長期入所者のリスク管理に及ぼす影響)

論文内容の要旨

(目的) 高齢者は，各種身体機能の衰弱に伴って，免疫能および嚥下機能が低下することにより肺炎などの感染症を起し易く，しかも重症化しやすい。したがって高齢者施設においては高齢者の感染症に対するリスク管理は重要な課題である。我々は 2006 年 11 月より関連病院の高齢者施設の入所者 (平均年齢 83 歳，42 名) を対象に，プロバイオティクス飲料であるヤクルト 400 (Y400) の継続飲用の有効性について，飲用前後の比較試験にて検討した。

(方法) 試験期間中の，入所者の体温，食事摂取量，便性，排便回数，嘔吐回数，臨時投与薬剤の使用頻度等の記録を統計解析した。

試験観察期間に入所者の糞便を経時的に採取して，便 pH 値の測定，高速液体クロマトグラフィーによる糞便中有機酸濃度の測定，細菌 16s リボゾーマル RNA をターゲットとした定量的 RT-PCR による菌叢解析を行った。

(結果) Y400 の継続飲用により 37℃以上発熱日数が有意に短縮され，便秘回数も減少した。そして，糞便中の酢酸濃度の有意な上昇と pH の有意な低下を認めた。Y400 の継続飲用により，有用菌 Bifidobacterium の菌数レベルが有意に上昇する一方，院内感染菌として問題となっている C. difficile や MRSA, MRCNS の菌数が有意に減少していた。

(結論) 以上のことから，高齢者施設入所者において，Y400 の継続飲用により，発熱日数の減少，便秘の改善が認められ，さらに腸内フローラや腸内環境が改善されたことから，高齢者施設入所者の感染症リスク低減に役立つ可能性が示唆された。